



古代日本の
「西の都」
-東アジアとの交流拠点-

那珂川市

歴史と自然が織りなす壮大なロマンを体感

「西の都」構成文化財であり、1300年以上前に開削されたと考えられる人工水路「裂田溝（さくたのうでな）」をはじめ、古墳時代の遺跡群や平安時代の安徳天皇ゆかりの台地など、さまざまな時代の歴史にまつわる場所をめぐることができます。

